

菊舎 顕彰 会 報

第17号
平成29年3月

発行
菊舎 顕彰 会

〒759-5512
山口県下関市豊北町田耕
電話083-783-0055
FAX 083-783-0055
e-mail
info@kikusha.com

行事予定

- ◎ 総 会 五月七日(日)十三時半～十五時半 豊北町田耕促進センター
- ◎ 会員研修 六月十八日・十九日「菊舎ゆかりの地めぐり島原・雲仙」
- ◎ 企 画 八月二十日(日)十三時半～十六時 俳句相撲大会「下関場所」 長府庭園書院
- ◎ 菊舎顕彰俳句大会 十月十五日(日) 豊北町田耕促進センター

- ◎ 二泊二日研修 菊舎ゆかりの地めぐり島原・雲仙
六月十八日(日)～十九日(月)
〈行先〉島原神代鍋島邸・雲仙・平成新山ネイチャーセンター
島原武家屋敷・湧水庭園「四明荘」・多比良港
〈縮切〉 五月末日 三十五名 貸切バス
〈参加費〉 三五、〇〇〇円 奮ってご参加ください！
―希望者には詳細をお知らせいたします―

見直そう日本文化

会長 岡 昌子

早いもので、会長をお受けして二十年経ちました。この間、皆様方にはあたたかいご支援を賜り心よりお礼申し上げます。昨年、私が特に嬉しかったことは、地元滝部の小学校、中学校、高等学校が、菊舎尼や俳句についての講座を開いてくださり、それをご縁に、各校の先生が夜の俳句会に出席、俳句を作り始められた事です。私の長年の夢が、やっと芽吹きはじめた心地がします。

昨夏には恒例の俳句相撲大会「つくの場所」をホテル西長門リゾートで開催いたしました。

遠近各地から四股名を付けた十六組が集まり、東西に分かれて相撲をとりました。横綱は和歌山県の町田氏でしたが、地元高校生も参加して大会を盛り上げてくれました。この顕彰会オリジナル相撲大会は年々レベルアップし、出場希望者も増えています。相撲という楽しい形をとりつつも、五・七・五音の詩情豊かな俳句の魅力を今後もお伝えしてまいりたいと存じます。

今年八月二十日に長府庭園で開催します。予選はありますが、皆さん奮ってご応募ください。

次に、秋には二つの特別企画展があります。一つは「山門を出れば」の句碑がある宇治萬福寺で「菊舎展」(十月十八日～十一月末)が開かれます。本会共催のもと、期間中には私の講演も予定されています。二つには、伊丹市の柿衛文庫の「俳諧と茶の湯展」(九月九日～十月二十二日)で、菊舎のものも出品されます。機会があればぜひ、ご観覧くださいませ。

これからも菊舎の志を受け継ぎ、日本文化の興隆に寄与する活動を行ってまいります。一人でも多くの方に「ご入会いただきたく、ご勧誘をよろしくお願い申し上げます。



横綱「周防灘」にインタビュー

平成27年度菊舎顕彰会収支決算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

収入の部				単位:円
項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	4,279	4,279	0	
会費	560,000	580,080	20,080	341人・595口(口座徴収料14,920)
事業収入	200,000	248,817	48,817	研究ノート・菊舎慕情・句集
貯金利息	46	42	▲4	
助成金	47,000	47,000	0	下関市27,000 田耕振興20,000
雑収入	30,675	69,000	38,325	祝儀・寄付
合計	842,000	949,218	107,218	

支出の部				備考
項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	30,000	26,079	▲3,921	総会・役員会
事業費	400,000	607,111	207,111	研究ノート・会報・イベント ホームページ管理・掛軸購入
研修費	120,000	111,655	▲8,345	研修下見
研究費	80,000	100,000	20,000	研究会
事務通信費	120,000	93,881	▲26,119	通信費・コピー・事務用品
交際費	20,000	3,000	▲17,000	祝儀
雑費	50,000	3,000	▲47,000	文化協会会費
予備費	22,000	0	▲22,000	
次年度繰越		4,492	4,492	
合計	842,000	949,218	107,218	

花便りコーナー

会員研修旅行(六月)

顕彰会の旅には、いつも満足して帰宅しますが何故でしょうか。やはり万全の用意とご苦労をいただいているからだに感謝です。いつも菊舎旅、有意義で楽しく素晴らしいです。八十路の私も元気を頂きました。

豊北中学校俳句講座(七月)
今まで俳句は難しいと思っていたが、授業を受けて自分が感じたことを表現できる素晴らしいものを知った。

田上菊舎は地元の子どもたちに俳句の良さを広めた。僕たちも楽しい俳句の伝統を守っていきたい。

俳句は長い時間の変化より一瞬を切り取る方がよいと習った。日頃からメモ帳を持ち歩く。菊舎さんのようなすいすい俳人が豊北町に誕生していたことに驚きました。

菊舎顕彰俳句大会(十月)
おもてなしのお心と学びの場と豊かな一日を過ごさせてくださいました。賞品の田耕の新米ピツカピツカで美味しくいただきました。有難うございました。

編集後記
アメリカ大統領にトランプ氏が就任しました。その言動の荒々しさはジャクソン以来と言われています。シンブルイズ ザベスト? そうも行かないのが世の中だという気もするのですが、ころぶまでついて往たし雪の道 菊舎 について行っても大丈夫かな、トランプさん? 佑

ご縁

紀の川市 町田勇輔



みんなの広場

一昨年秋、周防大島から角島大橋まで行き、道の駅豊北に寄り角島を眺めながら食事。ふと、後ろを振り向くと「投句箱」が目に入った。「こんなところに投句箱?」俳句を作って投句するなど思ったことすらなかったが、友達と書いてみようかと30分位考えた末、「夕暮にかすむ角島鳥渡る」を入れて道の駅を後にした。

後日、優秀句に選ばれたと、菊舎顕彰会から手書きされた自句と賞品が届きビックリ!ととてもうれしく77才の爺さん天に昇った気分・・・西の方を向いて深く一礼。

そして、顕彰会に入会、俳句相撲「つくの場所」にも出場する機会を得た。7月の相撲当日は、「周防灘」の四股名で対戦、運よく横綱にならせてもらった。これに気をよくした田舎の爺さん、柳の下の2匹・3匹目のドジョウを求めて、10月16日開催の菊舎顕彰俳句大会へと出発。いつもは車か新幹線だが、鉄道好きな私は、一日乗り放題切符(3000円)を使って、和歌山から故郷の周防大島まで7回乗換え、9時間30分。

翌日、豊北町田耕の会場へ。数人の方からあたたかく声を掛けられ、胸が熱くなった。隣に座っておられた山本団朗さんに俳句について、いろいろ教わった。こうしたご縁の中で皆さんと語り、笑い、集まって、私にとって極楽そのものであった。

道の駅豊北に寄らなければ、俳句相撲にも出場できず、菊舎のことを知る機会にも恵まれなかっただろう。関係者の皆さんの温かいお出迎えとおもてなし。この一本の糸が、やがて絆となり、そして、菊舎顕彰会へと脈々と継がれているのだなと思った。では、またお目にかかりましょう。

俳句相撲大会「つくの場所」

見合って!見合って!ハッケヨイノコッタノコッタ。行司の声が土俵に響いた次の瞬間、一斉に審判のウチワが上がり勝敗が決まります。さて、彫心鑠骨、悩み抜いた一句の運命は?取材中はずのNHKのレポーターさんまで飛び入り参加。主催者と出場者、それに観客が一体となって、歓声と爆笑に包まれた俳句相撲は、今回も満員御礼の本場所を終えることが出来ました。

「場所」に寄せられた皆様の声から

「とても楽しかった」と参加者が口々に申しています。高校生チームの準優勝はよかったです。

審判選者「山彦」河村主宰
撮影協力ありがとうございました。笑いあり趣あり「遊び心」と俳句の楽しさを満喫させていただきました。

NHK山口 松富レポーター
初戦を突破した時の嬉しさ、また「菊舎顕彰俳句手帳」をはじめ、沢山の賞品をいただき心苦しくもありました。 出場力士

ご寄贈 ありがとうございます

七弦琴「銘 空谷傳聲」

大阪府 岡田永子氏

《お便り》 抜粋

恩師姚公白氏から古琴は、先ず一人で楽しむものとお聞きしております。「心の友」と理解しています。菊舎尼も心の友として、旅を共にしていたのでしようね。

中国では琴の音はセラピーとして役立つというふうです。私にとっては思い出深い古琴ですが、姚師共々、ゆかりある菊舎顕彰会の資料の一部となれば本望です。

